頌徳会グループのご案内（令和2年4月1日現在）

日野病院 外来 診療時間表（堺市東区北野田626番地 TEL 072-235-0090）

●訪問診療 ●訪問リハビリテーション ●訪問看護 ●訪問服薬指導
●通所リハビリテーション
●時間外診療 有 ●無料送迎バス運行（北野田駅⟷日野病院）
●無料巡回バス運行（「新金岡・三国ヶ丘」・「深井」方面）

診療	診療時間帯		月	火	水	木	金	土	備考
内科	全科目予約制 午前 9:00～12:00 午後13:00～15:00 ◎急な風邪の症状や下痢・発熱等の比較的軽度な内科症状であれば、夜間、平日、日曜、祝日問わず、時間外診療を行っています。	午前	●	●	●	●	●	●	専門診療科と連携しつつ総合的な視野で診療を行っています 訪問診療も対応しています
脳神経外科		午前	—	●	—	—	●	●	脳神経全般に関する診断から治療までを行っています MRIによる検査も受付けています
整形外科		午前	●	●	●	●	●	—	レントゲン・CT・MRI撮影などにより診断・治療を行っています
外科・形成外科		午前	●	—	—	—	—	●	小さな外傷や皮膚腫瘍等の診療を行っています
神経内科		午後	●	—	●	—	—	—	訪問診療（脳梗塞等）も対応しています

日野クリニック 外来 診療時間表（堺市中区深井中町1248番地 TEL 072-276-5111）

●訪問リハビリテーション ●デイケア メディカルフィットネス ソレイユ
●夜間・土曜診療 有 ●無料送迎バス運行（深井駅⟷日野クリニック）

診療	診療時間帯	月	火	水	木	金	土	備考
内科	午前 9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	一般内科の他、循環器、呼吸器疾患を主に診療しており、胃カメラ、超音波などの検査が可能です
	午後 13:30～16:30	●	—	●	—	●	—	
	夜間 17:30～19:30	●	●	●	—	●	—	
整形外科	午前 9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	レントゲン・CTなどを利用して総合的に診断しています
	午後 13:30～16:30	●	—	●	—	●	—	
	夜間 17:30～19:30	●	●	●	—	●	—	
リハビリテーション	午前 9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	理学療法士によるリハビリテーションを行っています （受け付けは、終了時間の30分前までとなっています）
	午後 13:30～16:30	●	—	●	—	●	—	
	夜間 17:30～19:30	●	●	●	—	●	—	
皮膚科	午前 9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	皮膚疾患の他、膠原病、リウマチ疾患も診断しています
	午後 13:30～16:30	●	—	●	—	●	—	
	夜間 17:30～19:30	●	●	●	—	●	—	
アレルギー科	午前 9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	乳児の食物アレルギーも診断しています （土曜日は第1・3・5週に診療を行っています）
	午後 13:30～16:30	—	—	—	—	—	—	
	夜間 17:30～19:30	●	—	●	—	●	—	
形成外科	午前 9:00～12:00	—	—	●	—	—	—	水曜日午後診のみ予約制で手術を行っています ほくろ・脂肪腫・ひきつれ等以外にも様々な疾患を取り扱っていますので、ご相談ください
	午後 13:30～16:30	—	—	●	—	—	—	
	夜間 17:30～19:30	—	—	—	—	—	—	
禁煙外来	午前 9:00～12:00	●	●	●	●	●	—	保険診療による禁煙治療を行っています 初診の方は午前及び午後のみ診療を行っています
	午後 13:30～16:30	●	—	●	—	●	—	
	夜間 17:30～19:30	●	—	●	—	●	—	
腎臓内科	午前 9:00～12:00	—	—	●	—	●	—	腎臓病と腎臓病に付随する疾患の診断と治療を行っています （完全予約制）
	午後 13:30～16:30	—	—	●	—	●	—	
	夜間 17:30～19:30	—	—	—	—	—	—	

日野クリニック 血液浄化（人工透析・血漿交換など）時間表

診療	診療時間帯	月	火	水	木	金	土	備考
早朝透析	6:00～	—	●	—	●	—	●	穿刺時痛の軽減を図るためにペイレスニードルによるボタンホール穿刺を行っています 1日を有意義にすごしていただくために朝6時からの早朝透析を行っています。 ※無料送迎バス完備
午前透析	8:30～	●	●	●	●	●	●	
午後透析	～17:00	●	●	●	●	●	●	
夜間透析	～22:00	●	—	●	—	●	—	

介護老人保健施設 ソルヴィラージュ	堺市東区北野田636番地	TEL 072-235-5800	●入所・ショート（短期入所）：150名 ●デイケア：100名
介護老人福祉施設 ソルメゾン	堺市東区菩提町2丁62番地1	TEL 072-288-2008	●入居：80名／ショート（短期入所）：20名 ●デイサービス50名
おひさまケアプランセンター	堺市東区北野田626番地	TEL 072-235-7722	［ケアマネージャーが要介護認定の申請代行等、介護サービス利用のお手伝いをします］

★最新情報をホームページ http://www.syo.or.jp/ に掲載しています。ご見学、ご相談など随時承っていますので、お気軽に各施設までお問い合わせください。

VEGETABLE OIL INK
地球環境保護のため、この印刷物はベジタブルインキを使用しています。
また、有害廃液を出さない水なし印刷方式で印刷しています。

頌徳会グループ広報誌「ひだまり」2020 春号 Vol.II No.51 発行／社会医療法人 頌徳会 総務部 ★ご希望の方に無料配布します デザイン／so much

頌徳会・頌徳福祉会と地域を結ぶ情報誌

ひだまり

2020 春号
Vol.II No.51

社会医療法人 頌徳会
社会福祉法人 頌徳福祉会
日野病院
日野クリニック
介護老人保健施設ソルヴィラージュ
介護老人福祉施設ソルメゾン

CONTENTS

2 特集 患者さん・ご利用者の方々からのお手紙紹介
4 頌徳会グループお役立ち情報
7 理事長コラム
8 頌徳会グループのご案内

Primary Ship 頌徳会グループ

患者さん・ご利用者の方々からのお手紙紹介

広報誌‘ひだまり’では、2019年春号から４回にわたり日野病院を中心として、頌徳会グループの‘リハビリテーションの取り組み‘をご紹介してまいりました。

今回は、入院中リハビリテーションに日々取り組み、退院されご自宅に帰られた２名の患者さんからのお手紙と、ソルヴィラージュ、ソルメゾンに入所されていたご利用者のご家族の方々からのお手紙を、それぞれご紹介します。

日野病院 入院患者さんからのお手紙

１１月２２日の夕方、リハビリ中の庭園ですれ違った男性が理事長先生だと気づいたのは、後ろの女性を見てからです。私は、１０月１６日の夜の花火大会を見てから、その驚きと感動をお伝えしたかったのです。花火は思わず涙があふれるほどの感動と希望を私に運んでくれました。

あの時から、リハビリに対して前向きになっている自分に気づきました。うまくできなくてもいい。熱意あるスタッフの力を借りて‘とにかくやってみる’に変わりました。落ち込むことがあっても、花火を思い出してはリハビリをしています。

日野病院で毎日リハビリできる幸せに感謝しています。これからも病んでいる人々の力になってください。お願いします。

花火大会の様子▶

３階病棟に入院し、２階のリハビリ室でリハビリを行う毎日です。それがもう３ヶ月になろうとしています。その間病棟では看護師さんや介護士さんの優しさと励ましにふれ、毎日が楽しかったです。また、カラオケや頭の体操などをしていただき、周りの皆さんも喜んでいると思います。続けてください。

看護師さん、介護士さんの皆さん、本当にありがとうございました。

また、２階のリハビリ室ではリハビリの一環として、焼きそばを作らせていただき、一生忘れられない思い出として残りました。リハビリ室で働いている皆さん、色々と本当にありがとうございました。

頭の体操（脳トレ）の様子▶

ソルヴィラージュ 入所ご利用者ご家族からのお手紙

○○病院よりソルヴィラージュさんにお世話になることになりました。

エレベーターで3階に上がってびっくり！広いしきれいだし、明るいし、日当たりも良さそうで、スタッフの方も元気でにこやかに迎えてくださって、主人もすんなりとその雰囲気に溶け込んでくれました。

週に2、3回面会に行っていたのですが、ある日、私が帰る時、スタッフの方からエレベーターの前で「また来てあげてください」と言われたのでうれしくなり、家から歩いて行ける距離ということもありますが、それからは毎日のように行くようになりました。ヤクルトやリンゴのすりおろしたものを持って行くと、スタッフの方が「トロミをつけましょうか？」と気を遣ってくださいました。忙しくお仕事をされているその手を止めて親切にしていただき、申し訳ない気持ちでそれを主人に食べさせたり、足が悪かったのでさすっていると、日頃あまり話さない主人が「幸せだなあ」と言ってくれました。この時、息子と嫁と3人で顔を見合わせて「ソルヴィラージュさんにお願いして良かったなあ」と話しました。

リハでは両足の不自由な主人なのに、車いすに座ったままで足をもんだり伸ばしたり上げたりと真剣に、慎重に取り組んでいる姿を見て、心の中で「ありがとう」と言いました。

残念ながら主人は亡くなりましたが、看取りもしていただき、何をどうしてよいかわからない私たちに変わり、スタッフの方が着替えから身支度までしてくださいました。多数の方々にお見送りまでしていただいて感謝の気持ちでいっぱいでした。

何年先になるかわかりませんが、出来れば私もソルヴィラージュさんにお世話になりたいと願っている今日この頃です。

ソルメゾン 入所ご利用者ご家族からのお手紙

母の死に顔はとても穏やかなものでした。母の人生後半は、社交性に乏しいものでしたが、ホームでお世話になった2年弱の間、皆様に温かく励まされ、お花見や季節折々の行事に楽しんで参加するという、私にとって信じられないほどの変化でした。得意だった書道の練習では、赤字の二重丸、三重丸をたくさんいただき、私にも得意げに見せていたものです。

亡くなる前夜会いに行き、眠っている母を起こし、バニラアイスクリームの溶けたのをスプーンで食べさせました。最初の2杯は咳込みましたが、私が「どうする？」と尋ねると、「冷たいの（もっとほしい）」と希望し、計5杯を笑顔でゆっくり飲み込みました。度々起き上がろうとし、最後には口癖である「みいちゃん、きれいねえ、シュッとしているねえ」と娘褒めをし、私はいつも通り照れて「また来るね」と温かい手を軽く握りました。9月、10月と違い途中で眠がることもなく、1時間半とてもいい時間をすごすことができました。

その翌11月18日朝、母は86歳の人生を終えました。すでに点滴頼りの日々となっていましたが、痛みや苦しみもない状態でした。小さな体で大往生を遂げた、そう思っております。

本当にお世話になりました。

急に寒くなってまいりました。どうか皆様、何よりもご自身のお体にお気をつけくださいませ。

日野病院　院長就任のご挨拶

豊島副院長が2020年4月1日付で院長に就任しました。

豊島（てしましげる） 茂 院長

日野病院の院長に就任いたしました豊島です。

昨年、日野病院は地域の皆様に支えていただき、無事、創業40周年を迎える事ができました。
日本は超高齢化社会を迎え、人口構造 が様変わりしています。その為、医療や介護の役割は日毎に増大し、それらの『質』が重要です。
高齢者医療は、がん・心疾患・脳卒中・糖尿病の四大疾病だけでなく、肺炎や転倒による骨折等の疾病が重大問題になっています。そこで、当院は地域医療の窓口であるかかりつけ医の役割だけでなく、様々な専門医療の相談にも乗れる病院として貢献していきます。

昨年度より脳卒中治療や骨折・関節治療の専門医を招き、今春より肺炎などの呼吸器治療や消化・内視鏡治療、さらにがん・緩和医療の専門医に参加していただけることになりました。従って当院は、地域の医療機関とも連携して、さらに、治療後の機能回復や生活支援を目的としたリハビリテーションにも重きを置き、安心、安全で切れ目のない医療・介護・生活支援を提供していきます。よろしくお願いします。

頌徳会グループ

スローガンとシンボルマークに込めた頌徳会グループの‘想い’

プライマリーシップ

Primary Ship®
頌徳会グループ

医療・介護従事者、患者さん及びご利用者、ご家族を表しており、一体感や親密感、チームワークをシンボルにしました。ハートの中に3人の人が収まることで、「心を一つにする」という意味も込められています。退院・退所後もその人らしい生活を送れるようにという生き生きとしていて、前向きなイメージをマークに込めました。

この度頌徳会グループは、患者さんに対して今持つべき、そして今後も継続して持ち続けるべき思いを、一つのスローガンとして作成しました。
その言葉は『プライマリーシップ』です。

『プライマリーシップ』とは？

医師、看護師、リハスタッフ、介護士等の専門職が、心を合わせて担当患者さん・ご利用者に24時間寄り添うことにより、患者さん、ご利用者、ご家族と親密感や一体感を共有しながら全員が最大限の力を発揮し、退院・退所後もその人らしい生活が継続できるようにサポートする、頌徳会グループ特有のプライマリー精神のことです。

多職種協働で連携をとりながら患者さん・ご利用者を支援するということから、‘シップ（SHIP＝‘船’→スタッフ全員が同じ船に乗る）’を使用しています。

※「プライマリーシップ」の名称は商標登録済みです。シンボルマークは4月1日現在商標登録出願中です。

日野病院

1月8日（水）開催

‘新春倭太鼓イベント’のご紹介

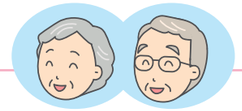
日野病院では、入院患者さんを対象に‘新春倭太鼓イベント’を開催しました。

今回は「倭太鼓飛龍」の皆さんに公演いただき、スピード感のあるダイナミックな演奏に会場内も熱気にあふれていました。

オープニングの演奏から凄い迫力で、患者さんの中には身を乗り出される方や、太鼓のリズムに合わせて手拍子を打たれる方等、大変楽しんで鑑賞しておられました。

中盤には、患者さんに太鼓をたたいていただくというワークショップを行いました。三三七拍子のリズムに合わせて、皆さん初めてとは思えないほど正確なリズムで、力強くたたかれていました。観客席の皆さんも手拍子を打たれ会場は大演奏会となりました。

今後も、芸術や文化に触れ、入院中の患者さんの心と身体の活性化を図っていただけるよう様々なイベントを企画してまいります。



ご利用者の方々の声

- 力強くてパワーをもらえた。
- 太鼓をたたけるなんて貴重な体験ができて楽しかった。
- 迫力がすごかった。また、こんなイベントをしてほしい。

▲ワークショップの様子

介護老人保健施設 ソルヴィラージュ

SUNSUNクラブ新プログラム

クリニカルアートのご紹介

▲本日のお題は‘さつまいも’。描く前に見て、触れて、味わって、会話も弾みます。

ソルヴィラージュ SUNSUNクラブの新しいプログラム『クリニカルアート』がスタートしました。

【クリニカルアートとは？】
脳と心にアプローチし、認知症の改善・予防にも高い効果が期待できるプログラムです。五感で感じたまま表現していくので、技術や知識は一切いらず楽しんでいただけます。

【プログラム内容】
まず講師からお題の説明を行い、ご利用者は手に取り、触る・嗅ぐなど雑談を交え観察して、感じたままに作品にしていただきます。

清水 薫
和歌山県美術家協会 会員
日本美術院 院友
臨床美術士

● 清水先生のコメント

開催日　毎月第3火曜日10：15～
第4木曜日13：45～

五感を刺激し、心を開放して、のびのびと自己表現できる教室を目指しています。
上手に描く必要はありません。個々の表現に、正解も間違いもないのです。
モチーフを通して昔話に花が咲いたり、一緒に取り組むことでコミュニケーションが生まれる。。。そんな楽しい時間を皆さんと一緒にすごし、生きる力のお手伝いができればと思っています。

『臨床美術』及び『臨床美術士』は、日本における（株）芸術造形研究所の登録商標です

介護老人福祉施設 ソルメゾン　日常生活支援への取り組み

ソルメゾンデイサービスでは機能訓練指導員がJOYSOUNDの音楽療法コンテンツ『健康王国』を使って、ご利用者の生活機能向上を目的とした体操を実施しています。

▲「靴下をはく」ための体操

今まで・・・

ご利用者全員で集団体操

✓毎回同じ体操で飽きてしまう。。。
✓自分の目標にあった体操がしたい。。。

『健康王国』導入後
✓自分の目的にあった体操なのでやりがいがある
✓この体操のおかげで、ベッドからの起き上がりが続けてできている

「健康王国」とは？

体操やレクリエーションなどの様々なコンテンツを映像や音楽と共に楽しみながら、高齢者の健康維持・QOL向上に取り組める音楽療養コンテンツです。

『健康王国』の活用

▲ワークショップの様子

『健康王国』には、「お風呂に入る」「洗濯物をしまう」「ベッドからの起き上がり」などといった、日常生活を支援するための体操コンテンツが豊富にあります。ソルメゾンでは、これらを使ってご利用者の健康状態や目標毎に小グループを作り、体操を実施しています。

外部ケアマネージャー体験会

日頃近隣でご活躍されているケアマネージャーの皆さんを対象に、ソルメゾンデイサービスの特徴や取り組みをよりご理解いただくために‘デイサービス体験会’を行いました。

総料理長によるブリ解体ショーが始まると、「生魚が出てすごいですね。しかも実演調理とは！」と皆さん驚いておられました。さらに機械リハを体験され、「イベントだけでなく、運動も出来る取り組みはいいですね。」との感想をいただきました。

頌徳会グループ

4月1日よりコメディカルスタッフ・介護スタッフの制服をリニューアルしました。

新しい制服は、清潔感のあるデザインで、患者さん・ご利用者のサポートを重視し動きやすさや着心地・機能性等をアップしました。写真のように、胸元・襟元・ポケットに男性はブルー色、女性はローズ色のラインがあしらわれています。

また、職種と名前は皆さんにわかりやすいように、ワッペンの上に刺繍で入れました。ワッペンは、業務によって胸元と袖口に付け替えることが可能です。

スタッフ一同気持ちも新たに、より一層地域の皆さんに安心してご利用いただけるような施設を目指し努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いします。

ワッペンのイメージ▶

理事長コラム　感染予防

理事長 日野 頌三

新型コロナウイルス感染拡大がWHOにパンデミックと宣言されました。ウイルスは世界中に拡散しています。今回引き金を引いたのは中国共産党です。それはさすがに自覚しているようですが、初期対応の失敗に関して損害賠償を要求すべきだという声もあちこちで聞かれます。

初期の症例が隠ぺいされた結果感染が拡大し、近隣の韓国、日本のみならず、中国が推し進めてきた「一帯一路」でEUの中唯一賛成をしたイタリアにまで、余波が広がりました。イタリアの医療制度が財政難から脆弱になっていたことに重ねて、挨拶が濃厚な接触で行われる習慣があったことなどが感染拡大に拍車をかけたようです。国が出した対策は「外出禁止」でした。ここで私が思ったのはコロナの流行も恐ろしいですが、日本と同じくイタリアも高齢社会ですから「生活不活発病」が多発しないかという懸念です。

日本でもデイサービス事業所でクラスターが発生しました。デイサービスは生活不活発病を予防する優れた制度なのですが、こういう伝染病の蔓延には極めて弱い側面もあります。しかしサービスが中止されご利用者が家に閉じこもってしまうと、前記の生活不活発病を誘発し、歩くことなどが難しくなったり疲れやすくなったりします。特に高齢の方や持病のある方は「動きにくく」なり「動かない」という悪循環に陥って、心身の機能が低下し最悪寝たきり状態になることもあります。

それだけにサービス提供を中断することはできません。ご利用者や患者さんが活発な生活が送れるよう、一緒に新型コロナウィルスの感染予防に努めたいと思っています。

日野クリニック　「第27回KIX泉州国際マラソン」に看護スタッフがボランティアで参加しました

大会概要　2020年2月16日（日）午前10:30スタート
参加者 フルマラソン:5,000名、ハーフマラソン:1,000名

ボランティア実施内容
●浜寺公園からりんくうまでのマラソンコースを医師と共に移動し、途中棄権したランナーをバスで搬送
●棄権したランナーの状態把握→低体温の方:毛布で温め
脱水症状の方:飲み物の提供

頌徳会グループ 理念　生命の花を咲かせます　生きる力を支えます　力を活かして支えます